



観光マナーガイド

# 北海道・旅の常識

聞くは一時の恥、  
聞かぬは一生の恥



## 北海道・旅の常識

— 中国人観光客のための旅のマナーガイド —



発行  
(お問合せ)

(公社)北海道観光振興機構  
札幌市 中央区北3条西7丁目1-1 緑苑ビル1階  
Tel.011-231-6736 Fax. 011-232-5064

企画・編集

(株)ジーン



日本人の、心に触れて、

旅を楽しむ。



中国人と日本人はよく対照的な国民性だと言われます。気質は、おおらか(大陸)⇔神経質(島国)、会話はストレート⇔間接的、人間関係は、主張派⇔協調派など。文化の違う私たちだからこそ、お互いを理解することが重要です。日本人は旅行の際「郷に入れば郷に従え」という教えをととても大切にしている国民だということをご存知ですか？

また、集団社会でうまくやっていくには「協調性」が最も重要だと考える日本人は、周囲に対する気遣いやマナーをととても大切にします。過剰なほど人目を気にし、他人への迷惑を慮り、社会のルールを無視した自己中心的な言動を忌み嫌います。日本人を知り、日本のルールを学べば、あなたの旅にはよりいっそうの充実と感動が訪れます。「ほんのちょっとしたこと」に気をつけて、日本人の心に触れながら、すばらしい北海道の旅をぜひ楽しんでください。



日本人の常識 I

郷に入れば、郷に従え

旅先では滞在地のルールに従うこと。日本人にとってはこれが旅の常識となっています。だから

SCENE

1

移動・交通のルール

観光バス／ジャンボハイヤー

### 1 時間は厳守!

集団行動で特に気を付けなければならないのが時間です。買い物に夢中になったり、勝手に離団して集合時間に遅れると、その後のスケジュールが狂い、バスの運転手がパニックに陥ったり、時間を守って買い物ができなかった人が不快な思いをします。日本人は特に時間に几帳面です。気を付けましょう。



### 2 車内でゴミを散らかさない。

日本では、公共の場でゴミのポイ捨てをすると、周囲から白い目で見られます。自分が出したゴミは自分で片付けること。捨てる時にもゴミの種類を分別して捨てるようにしましょう。観光バスの車内で周囲にゴミを捨てていると、それを見た日本人は不愉快な気持ちになるので気をつけましょう。



### 3 傷害保険について

観光バスで移動中、観光地で転んでケガをして病院へ行くことに。この場合、ツアー自体で傷害保険に入っていないければ保険は適用されません。また、乗降中を除き、バス車外で転んだ怪我などの場合、バス会社は賠償する責任を負いません。母国での保険加入の有無をしっかりと確認してください。



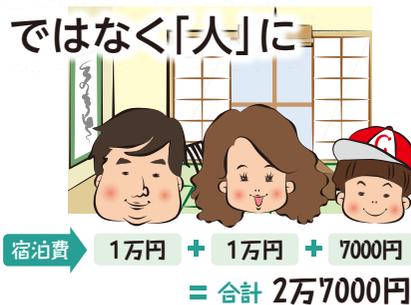
日本人は外国を旅行する際、その土地のルールを学ぼうと努力します。逆に言えば、日本人は、日本を訪れてくれた外国人観光客の皆様にも、「日本のルールを尊重して欲しい」と考えています。日本のルールを学び、日本人の心に配慮ができれば、あなたはすばらしい観光客です。ぜひ「郷に入れば郷に従え」の精神を忘れず北海道を旅してください。

## SCENE 2 宿泊のルール

### 宿泊施設で

#### 1 宿泊料金は「部屋」ではなく「人」に

「部屋」に対して宿泊料金がかかる中国と違い、日本では「人」に対して料金がかかります。ですから1部屋に3人が宿泊する場合は3人分の料金を払わなければいけません。朝・夕食付きもすべて人数分です。チェックアウト時に「3倍も取られてる!」と慌てないようにしてください。



#### 2 タバコは指定の場所で

禁煙用の客室や非常階段など、中国人のお客さまの中には喫煙してはいけない場所でタバコを吸うお客様がいらっしゃいます。喫煙は指定の場所で行うようにしましょう。また、客室に備え付けのコップや皿を灰皿替わりに使用するお客様も見かけます。これもマナー違反となるので気を付けましょう。



#### 3 消耗品・使い捨て品以外の持ち帰りはダメ

宿泊施設の備品の中でも、アメニティグッズの石鹸、シャンプー、カミソリなどはよいのですが、食器や湯沸かし器、ドライヤーなど、これらを宿泊施設から持ち帰ると盗難(犯罪)になります。アメニティグッズ(消耗品・使い捨て品)以外の備品は絶対に持ち帰らないでください。



#### 4 トイレのマナー

日本では、使用後のトイレットペーパーを備え付けのゴミ箱ではなく、便器の中に捨てて排泄物と一緒に流します。ゴミ箱に捨てる行為は「公害」に相当するので気を付けてください。また、トイレをおしっこ等で水浸しにしたら、自分で必ずキレイに掃除をしてからトイレを後にしましょう。



#### ウォッシュレットの使い方

ウォッシュレットには「おしり洗浄」「ビデ洗浄」「脱臭」「暖房」などの機能が付いています。表示板を見て確認してください。ただ、ウォッシュレットの多くは「水を流す」機能がついていません。トイレのタンクに手動レバーか周囲の壁に水洗ボタンが必ず付いていますから、「どうやって水を流すの!?!」とパニックにならず、落ち着いて周囲をよく見まわしてください。



#### 日本人の常識 II

#### 空気を読む

日本人は「空気を読む」ということをとても大切にします。その意味は「その場の雰囲気(空気)か

ら状況を正しく推察し、自分の言動に気を付けること」を言います。たとえば、周囲の人たちが沈痛な気持ちでいるときに、一人だけ楽しくはしゃいで周囲に不快な思いをさせると彼は「空気を読めない」ということになります。集団社会の中で「和の精神」と「協調性」を重んじる日本人だからこそこの言葉が社会に浸透したのです。

## 公衆浴場で

### 1 裸とフェイスタオル

公衆浴場内には、無着衣(裸)にフェイスタオルを持って入場しましょう。他に浴室に持ち込めるのは、個人所有のシャンプーや石鹸などです。水着やバスローブを着用したり、スリッパ履きで浴室に入らないでください。



### 2 入浴前に体を洗いましょう。

浴槽は、みなが裸で使う共有の場です。清潔好きの日本人は、入浴前に体をきれいにしてから湯船に浸かります。浴室に入ってからすぐ浴槽に直行し、湯船にドボン!!はマナー違反になります。入浴前に必ず体を洗うようにしましょう。



### 3 浴室での禁止行為

浴室では、大声で騒ぐ、浴槽で泳ぐ、その他写真撮影や飲食行為は禁止されています。また、洗い湯では周囲の人にシャワーの湯をかけないように注意し、使い終わった洗面器や椅子は、お湯で流して元の場所に戻しておきましょう。



### 4 脱衣所に戻る前に水気を取りましょう

風呂場から上がる時に、そのまま脱衣所に行くと、脱衣所の床が水浸しになります。他のお客様がすべて転倒する危険性もあるので、お風呂から上がる前に体の水気を取ってから脱衣所に戻りましょう。



### 入湯税について

日本では、温泉や鉱泉の入湯客に地方税が課されます。温泉を利用すると、宿泊、日帰りに関わらず、1人1日につき、宿泊で150円程度、日帰りで50円~100円程度の課税となります。宿泊の場合、基本的に温泉を利用しなくても入湯税はかかります。

### 日本人の常識 III

### 細か過ぎる日本人?!

日本人は、島国という国民性もあり、非常に繊細で几帳面、細かなことにこだわる民族です。おま

けにきれい好きで潔癖症でもあるので、大陸のおおらかな国民性とは真逆の気質と言えます。中国のお客様は「日本人の常識」を知れば知るほど理解に苦しむでしょう。「日本人は細すぎる!□うるさい!」と。しかしそのようなきめの細かな繊細さやお客様に対する高い配慮が世界一の「おもてなし大国」の評価につながっていることもまた事実なのです。

## 飲食のルール

## 1 食べ散らかしは日本ではマナー違反

中国とは逆で、日本人は食事中に大声で騒いだり、テーブルの上や床に食べ物のカスや骨を吐き出すのはマナーが悪いと感じます。食べカスや骨は別の皿に入れるようにしましょう。使用後の爪楊枝やデンタルフロスも同様で、テーブル上に放置せず、持ち帰るかゴミ箱に捨てましょう。



## 2 ゲップは控えめに

欧米でもそうですが、日本でも周囲をはばからない大きなゲップは、マナー違反です。生理的に出てしまうものなので「ゲップをするな」とは言いませんが、せめて控えめにしよう注意しましょう。



## 3 食べ物は残さない

これも、日本と中国では逆です。日本には「もったいない」精神があり、出してくれた食べ物をすべて残さずきれいに食べるのが礼儀とされています。食べ物が皿に残っていると「美味しなかったのかな」と日本人はがっかりします。なるべく残さないようにしましょう。



## 4 持ち込み／持ち帰りは不可

飲食店に飲み物や食べ物を持ち込むと、日本では罰金の対象となる場合がありますので気を付けてください。また、ホテルのバイキングといえども、水筒に飲み物を入れたり、タッパにご飯やおかずを詰めたり、スプーンなどの備品をこっそり持ち帰るのはマナー違反です。



## 日本人の常識 IV

## 和を持って尊しとする

狭い島国で共存するための知恵として、日本人は昔から「和の精神」を大切にしてきました。

一人ひとりが謙虚に振る舞い、なるべく周囲や相手に合わせようとします。日本は基本的に「相手に合わせる」文化なのです。ですから、厚かましさをやわがまま、自己主張、目立つ行為は、「和を乱す」とされ、最も日本人が嫌がります。皆さんはそのような国民がいる国を訪問してるのだという自覚を忘れないでください。

## SCENE 4 買い物のルール

### 買い物のルール

#### 1 列への割り込みはダメ!

日本では列への割り込みは軽犯罪法違反になります。行列にはきちんと並びましょう。ちなみに、公共の場でのつば吐き、タクシー車内での嘔吐なども軽犯罪法違反となります。



#### 2 商品を勝手に開けない、食べない

日本では、お金を払って商品を購入して初めて商品のパッケージを開けることができます。「どうせ買うんだからいいでしょ?」という理屈は通用しません。一つ間違ると「万引き」とみなされ、逮捕されることもあるので、商品を勝手に開けたり食べたりするのはやめましょう。



#### 3 ゴミの捨て方

ゴミは床や道路に捨てないでゴミ箱に捨て、捨てる際にはゴミの種類を確認して、分別して捨てましょう。紙とビンでは捨てる場所も異なります。使用済みの紙おむつは普通のゴミ箱に捨てないで、持ち帰るか、指定の場所に捨てましょう。



### 日本人の常識 V

#### NOと言えない日本人

これまで説明してきたように、日本人は自己主張の苦しい民族です。ですから、外国人からバシッ

## SCENE 5 観光地でのルール

### 観光地でのルール

#### 1 STOP! 歩きタバコ

諸外国同様、現在は日本でも公共の場で喫煙できるスペースは限られており、指定されたスペース以外は禁煙となっています。喫煙は指定の場所で行うようにしましょう。特に歩きタバコはベビーカーの赤ちゃんやすれ違う観光客に迷惑となるのでやめましょう。



#### 2 私有地への侵入

CMのロケ地を見ようとして畑を歩いていたら、知らない間に私有地に侵入していた、というケースがよくあります。これは不法侵入となり、作物が枯れるなど所有者に大迷惑をかけることになるので、畑や私有地と思われる場所にはずかずかと入り込まないでください。



と自己主張されると、本当は拒否したくても、本当は腹を立てていても、何も言い返せない傾向があります。逆に言うと、日本人が何も言い返さないからといって承認しているわけでも、同意しているわけでもないということです。「Noと言えない日本人」にも意見や感情はしっかりと存在します。それを理解した上で上手なコミュニケーションを行いましょう。